

じゅんさい池みらいプロジェクト 取組み方針の検討

保全・整備活動の担い手について

現 状

- 市（東区建設課）：園路や東屋などの公園施設の維持管理、樹木の保全、池への工業用水の流入、ホタルの人工飼育等
- じゅんさい池公園愛護会（周辺6自治）：除草、清掃等（公園面積に応じた報償費支給）
- アダプト団体「山林ボラン広場」：樹木の枝打ち、草刈り等（ボランティア活動）
- 「じゅんさい池を守る会」：園芸スイレン、ヨシ刈り、地域の意見の吸い上げ（東山の下地区コミュニティ協議会 環境衛生部会）

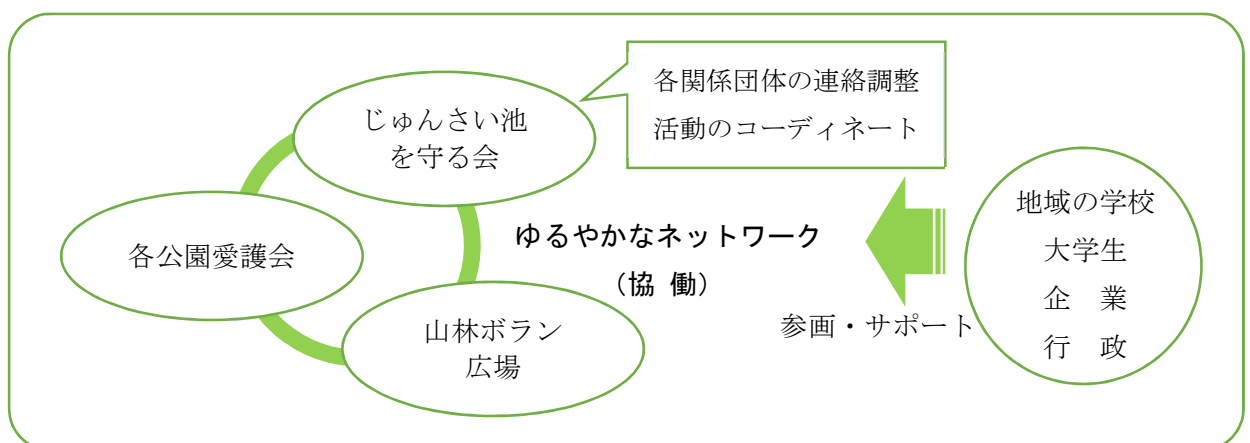
課題と今後の取組みについて

- 公園愛護会、アダプト団体「山林ボラン広場」、「じゅんさい池を守る会」はそれぞれの役割を担っているが、お互いが活動状況や方向性を共有する機会はなかった。

↓

効果的（効率的）な保全・整備活動ができるよう、それぞれの活動等を共有する場を設ける

- 今後のじゅんさい池公園の保全・整備活動の主軸となる主体の検討
 - ・「じゅんさい池を守る会」が担うことは可能か
 - ・「じゅんさい池を守る会」の組織を拡充する可能性は
 - ・新たなプレーヤー（仲間）の掘り起こしが必要か



※アダプト団体：公共施設である道路や公園の一定区域を養子に見立て、その団体が「里親」になり、清掃や植栽の管理を担うボランティア活動